

-5/00

管理換

数理解析研究所講究録 307

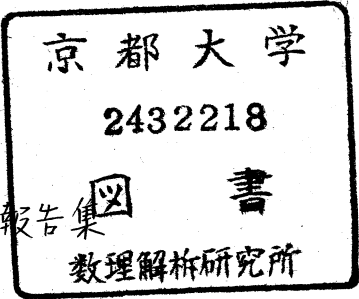
ス
80
17

作用素論とその周辺



京都大学数理解析研究所

1977年8月



作用素論とその周辺研究集会報告集

研究代表者 藤田 宏

1977年1月31日 - 2月2日

目次

1. Long-range potential を持つ Schrödinger 作用素の散乱理論 (修正波動作用素の完全性).....	1
厚生省	北田 均
2. Modified wave operator の completeness	29 ✓
京大 理	池部 晃生
京大 理	磯崎 洋
3. 振動型積分変換の L^2 有界性とその応用.....	46
東大 理	浅田 健嗣
東大 理	藤原 大輔
4. 連続関数の空間での放物型方程式.....	60
阪大 理	田辺 広城
5. 発展方程式について.....	63
California大	加藤 敏夫
6. 波動方程式に対する混合問題について (外部領域における解の存在と減衰について).....	84
阪大 理	井川 満

7. 楕円型作用素のスペクトルと局所エネルギーの減衰度

102

都立大 理 村田 実

8. Boltzmann 方程式について..... 111

奈良女大 理 静田 靖

京大 教養 浅野 潔

9. 非柱状領域での Navier-Stokes 方程式について..... 122

広大 理 井上 淳